

ガバナー月信

Vol.10 Apr.



未来を見据えて変化しよう
—多様性を力に—



2024-2025年度米山記念奨学部門修了式



ガバナーご挨拶

2024-2025年度
第2770地区 ガバナー
岡村 睦美 (川口)



全世界で、ロータリークラブへ女性の入会が認められた1989年規定審議会は、ロータリーの歴史上で重要な分岐点となりました。

「代表議員の皆さんに忘れないでもらいたいのは、1905年と1989年はまるで別世界であるということです。したがって、ロータリーは移り行く世界に足並みを揃えるべきだと考えています。」と訴えたのは、後の2000-01年度にRI会長に就任したフランク・J・デブリン氏です。

決定の背景には、ロータリー世界で男女を問わず多くの人々がロータリークラブで女性の入会を認めようと数十年に渡り活動してきたこと、また、前回までの審議会で着実に賛同者を集めてきたことがありました。

そしてこの決定は大きな反響を呼びました。翌1990年には女性のロータリアンの数が2万人以上に跳ね上がったほどです。

その審議会から30年以上経った今、ロータリーには20万人以上の女性会員がいます。RI理事やロータリー財団管理委員といった高い指導役としても、女性の活躍が見られるようになりました。世界120万人の25%が女性会員です。日本は僅か8%台です。

世界のジェンダーギャップは、146か国中118位と低迷しています。お隣の韓国の女性会員は25%です。我が地区も9%に届いていません。日本におけるDEIはまさに女性活躍を推進するキーワードです。民間の大手企業であるメルカリ、味の素、SONY、資生堂などは企業内にDEI推進課を置き、女性役員の推進やその育成に力を注いでいます。

2030年までに一部上場企業における女性役員の割合を3割にするよう国も要請しています。既にEUにおいてはクォーター制(4割)に女性役員をするよう法律で定めています。数値目標だけではなく、国際社会、地域社会が求める奉仕社会の視点には女性会員の必要を感じております。日本のロータリーにおいて、既存クラブにおける増強には女性会員を増やすということが必要だと切実に考えております。

ガバナー公式訪問

川口シティ鳩ヶ谷ロータリークラブ

令和 7 年 1 月 14 日

会長：片岡 一之 幹事：峯 節

30周年を迎える当クラブの現状に関してガバナーに報告しました。

地元旧鳩ヶ谷市内の中学校三校を訪問し、要望により図書、運動用具、大型モニターの寄贈を企画している事、同じく地元の介護施設へサンタクロースとしてプレゼントを渡した事を報告しました。

また下期にはフィリピンのE-Club、春日部イブニングRCと共同で、飲み水がない小学校へ浄水器の設置をする事業を計画中である事を報告しました。

さらに現状会員数が7名という当クラブの今後に関して、屈託のない意見交換をしました。今後もガバナーをはじめとする地区チームの皆様の支援を仰ぎながら、更なる発展を約束して時間となりました。



2024-25年度 第4グループインターシティミーティング

2025 年 2 月 5 日 パレスホテル大宮

令和7年2月5日(水)、国際ロータリー第2770地区 第4GグループIMがパレスホテル大宮にて開催されました。

IMテーマは「IM新年会～楽しくなければロータリーじゃない～」です。清水勇人さいたま市長、国際ロータリー第2770地区 岡村睦美ガバナーをはじめ多くのご来賓の皆様、多くのロータリアンの皆様の出席を賜りました。ロータリー活動の基本は「奉仕」と「親睦」を両輪とした活動であります。今回はIMのテーマから「親睦」に重きを置きました。各クラブ間の垣根を越えて親睦を深める良い機会となりました。

第一部のセレモニーの後、第二部は「翔んで埼玉」の主題歌を歌う「はなわ」さんをお迎えし、笑いあり、チョットほろっとしたりの歌謡ショーでした。その後は各テーブルでの盛り上がりをピークに楽しい時間を会員皆様と共有出来ました。今回のIMを通じて親睦と友情を深めて頂き、これからのロータリー活動の一助になったと思います。ありがとうございました。



第4グループガバナー補佐 原田晃博

2024-25年度 第5グループインターシティミーティング

2025 年 2 月 27 日 桶川市民ホール「響きの森」

去る2025年2月27日に、桶川市民ホール「響きの森」に於いて、2024-2025年度国際ロータリー第2770地区第5グループのインターシティミーティングが、桶川ロータリークラブ主幹のもとで開催をさせて頂きました。当日は第5グループ9クラブ200余名の会員の皆様、そしてご来賓として、国際ロータリー第2770地区2024-2025年度ガバナー岡村睦美様、他グループのガバナー補佐の皆様、地区部門委員長の皆様、そして桶川市長小野克典様をお迎えしての開催となりました。

今年度のインターシティミーティングは、「Fun Is The Best!」をテーマに掲げさせて頂き、何をするにも先ずは楽しいが一番!との思いから、老若男女を問わず人々の共通言語とも言える「音楽」を通して、喜びと感動をお届けしようと企画を進めてまいりました。

オープニングには城西大学附属川越高等学校の和太鼓【櫂】の皆様をお迎えしての和太鼓演奏から幕があがり、高らかな点鐘の後、厳かに第1部の式典が執り行われ、第2部となる記念演奏には、埼玉県警察音楽隊の吹奏楽の演奏、そして音楽隊の演奏をバックに、カラーガード隊の皆様による、息のあった華麗な演技が披露され、参加頂いた皆様楽しんで頂きました。またこの記念演奏には、一般の方々も無料でご招待をさせて頂き、対外的にも広くロータリークラブのPRも行いました。



そして記念演奏後には、大懇親会もご用意させて頂きました。ご多用の所をご来賓の方々にも多くお残り頂き楽しんで頂けました。大懇親会では毎年恒例である、次年度各クラブ会長幹事紹介が行われ、2025-2026年度第5グループ松本安永ガバナー補佐予定者から、会長エレクト、幹事予定者が発表紹介されました。各人が紹介をされる度に、会場の皆様より大歓声でのエールが贈られた所です。短い時間ではありましたが、大いに飲んで食べて楽しんで頂けたと思っております。桶川ロータリークラブ長島修実行委員長のもと、全会員の協力をもって、無事に式典を修了する事が出来ました。



本年度は、お預かりしている第5グループ9クラブの会員の皆様が、クラブの垣根を越えて親睦活動を通して相互の交流を深められ、その結果より大きな力が生まれる事を期待して、この1年を進めさせて頂いております。今回終了した式典の後も、3月にはIM記念ボウリング、そして4月にはIM記念ゴルフが開催され、グループ内親睦活動として会員相互の交流の場を、引き続き設えさせて頂く予定でおります。各大会には既に多くの会員の皆様の参加申し込みを頂いており、各大会の準備もそれぞれの部会長を中心に、順調に進んでいる所です。ご参加頂く会員の皆様には、絶えず笑顔で楽しく遊んで頂き、その英気を奉仕に向かう活力にして頂ければと考えております。

この度のインターシティミーティング開催に際し、ご理解とご協力を頂きました第5グループ会員の皆様、そして関係各位に深く感謝と御礼を申し上げ、開催のご報告とさせて頂きます。誠にありがとうございました。

この度のインターシティミーティング開催に際し、ご理解とご協力を頂きました第5グループ会員の皆様、そして関係各位に深く感謝と御礼を申し上げ、開催のご報告とさせて頂きます。誠にありがとうございました。

第5グループガバナー補佐 前島昌文



2024-25年度 第8グループインターシティミーティング

2025 年 2 月 1 日 越谷コミュニティセンター小ホール

2025年2月1日、第8グループのインターシティミーティングが開催されました。本ミーティングは、ロータリークラブの本質を探り、長年にわたり受け継がれてきたクラブの歴史、現在、そして未来のあり方を見つめ直し、時代に適応できるクラブ運営を目指すことを目的としました。



第1部：式典

岡村ガバナー、越谷市長、越谷市議会議員、ライオンズクラブ会長、青年会議所理事長をお招きし、地域社会を支える行政および団体との協力関係を一層強化する機会となり、前年度の染谷ガバナー補佐への感謝状贈呈、越谷北RCの小林ガバナーノミニ・デジグネートよりご挨拶をいただきました。



第2部：基調講演・フォーラム

国際ロータリー第2840地区パストガバナー田中久夫氏(群馬県高崎市)を講師に迎え、「仲間との出会いが彩る人生：ロータリークラブの真髄」と題した講演を実施しました。田中氏は、ロータリークラブが直面する課題を率直に指摘し、クラブ運営の改善や会員増強に向けた指針を示されました。内容は大変示唆に富んでおり、貴重な学びの機会となりました。しかし、本来聴講してほしいロータリアンの参加が少なかった点が課題として浮き彫りとなりました。この状況を改善するため、第8グループおよび各クラブとして何をすべきか、真摯に向き合う必要性を改めて認識しました。

続いてのフォーラムは「クラブを導く想いを紡ぐ」と題し、各クラブ会長によるスピーチが行われました。スピーチは以下の5つのテーマに沿って発表されました。

1. 自クラブの特長と課題：クラブの強みと改善点の共有
2. 例会の現状と改善：例会の雰囲気や参加メリット、さらなる改善策
3. 事業活動の価値と意識：クラブの事業活動の社会的価値と奉仕の意識
4. 親睦活動の魅力：親睦活動や部会を通じた楽しさと意義
5. 前半の振り返りと後半への思い：年度前半の振り返りと今後の意気込み

各クラブの会長による熱意あふれる発表は、メンバーの心に響き、クラブへの想いを再認識する貴重な機会となりました。

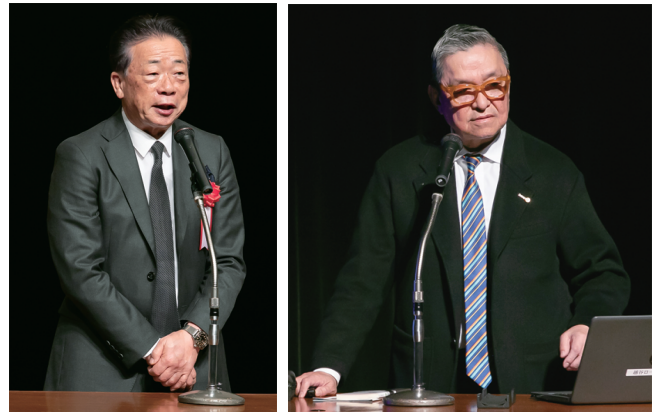
スピーチ後には、サプライズとして生演奏のピアノに合わせ、「エールの手紙」が幹事によって読み上げられました。この手紙は、各会長の入会時の推薦者、パストガバナー、人生の師匠、そしてご家族(奥様)の方々からのメッセージが綴られたものです。

幹事がクラブを代表し、一輪の薔薇を添えて会長へ手紙を手渡し、年度後半への活躍を全力応援した姿は感動と笑いに包まれ、ロータリアンの一体感をより深める温かいひとときとなりました。

まとめ

今回のインターシティミーティングを通じ、ロータリークラブの本質について深く考える機会を得ることができました。一方で、参加率の向上やクラブの活性化に向けた課題も明確になりました。今後は、今回の学びを活かし、より多くの会員が参加しやすい環境を整え、より充実した活動を目指していきたいと考えます。

第8グループガバナー補佐 須賀定吉



2024-25年度 第10G インターシティミーティング

7年 3月 22日 三郷市商工会館

第一部式典

司会：ガバナー補佐幹事

物故会員を偲んで黙禱をし、点鐘を濱田一夫ガバナー補佐、「国歌、奉仕の理想」を有明京子三郷RC会長、「ロータリーの目的、四つのテスト」を里見純庸松伏RC会長、開会の辞を実行委員長の谷津茂男三郷中央RC会長と続き、濱田一夫ガバナー補佐が挨拶を行いました。

今回のIMは、補佐幹事や各クラブの会長幹事が実行委員に成って頂き会議を重ねた結果、年に一度の会員揃っての親睦とロータリアン自らポリオ募金をするとの事で「ポリオ根絶チャリティ・パーティー」を行いました。

第一部式典では岡村睦美ガバナー、三郷市長、松伏町長、吉川市長（代読）にご祝辞をいただきました。その場で岡村睦美ガバナーへポリオ募金の目録をお渡しいたしました。その後、豊田茂雄前年度ガバナー補佐へ記念品の地球儀の贈呈を行い、次年度ガバナー補佐を紹介して第一部を終了しました。尚、ポリオ募金は32万円ほどになりました。



第二部パーティー

司会：吉川中央RC副会長

開宴挨拶を岡田勇作吉川RC会長、伊藤正三郷RC幹事による各クラブの今年度事業の実績報告と紹介が行われ、その後加藤英泉三郷中央RC幹事による乾杯で親睦パーティーがスタートし、アマチュアバンド「昭和ポップスとジャズ」を聴きながら美味しい食事を食べ親睦を深めました。

最後にIM実行委員紹介を小林三丈松伏RC幹事、恒例の手に手つないでを全員で、閉宴の挨拶を尾ヶ井寛吉川中央RC幹事が行い終了となりました。

第10グループガバナー補佐 濱田一夫



2024 学年度米山記念奨学生 修了式

2025 年 3 月 23 日



2025年3月23日(日)、岡村ガバナーをはじめ地区役員の皆様、大学指導教員、世話クラブの会長、幹事、カウンセラー、米山奨学生、米山学友、歴代米山部門委員長など130名もの参加を頂き、パレスホテル大宮チェリールーム3階にて、2024学年度米山記念奨学生修了式を開催しました。

修了式は二部構成として、一部では、奨学生に修了証書授与と世話クラブカウンセラーに感謝状の贈呈式。二部では、修了する米山奨学生22名のスピーチ、各大学指導教員のご挨拶・贈る言葉、一年間の事業をまとめた映像の放映を行いました。米山奨学生のスピーチでは、世話クラブ・カウンセラーに対する感謝の言葉(世話クラブの暖かさに触れ、日本への理解が深まったことや米山奨学生として学生生活がとても充実したものになった、視野が広がったなど)や将来の夢を語ってもらいました。その後、奨学生全員によるアトラクション・合唱は、感動的でした。

これから、進学する人、母国へ帰る人、日本で就職する人など様々ですが、ロータリーで学んだ奉仕の精神やロータリーとの交流を通じて、是非、母国と日本の架け橋になって下さい。また、今後は、米山奨学生学友として世話クラブや米山奨学部門の事業に参加して下さい。

米山記念奨学部門委員長
小林 達郎 (幸手中央 RC)





大宮シティロータリークラブ 「パラ・ミュージアム in OMIYA 2025 開催！」

2025 年 2 月 15 ～ 25 日



当クラブでは青少年奉仕委員会と地域社会奉仕委員会の合同事業として、2月15日から2月25日まで、そごう大宮店とビックカメラとの3階連絡通路にて「パラ・ミュージアム in OMIYA 2025 発掘! 未来のパラアーティスト」を開催しました。今年で3年目となるこの事業は「ハンディを持たれている子どもたちが自由な発想と素直な気持ちを表現した絵画や工作などを多くの方々に見ていただき、ハンディのある人となない人の心の垣根を低くしていきたい」との思いで開催しています。今回もさいたま市内の特別支援学校、小中学校の支援学級7校の児童・生徒さんたちの感性豊かで個性あふれる素晴らしい作品を展示いたしました。

展示会場がとても人通りの多い場所なのもあり、たくさんの方々に足を止めて見学していただいたことがとても嬉しく思いました。ご公務でお忙しい中、清水勇人さいたま市長にもいらしていただき1作品ずつとても熱心に作品をご覧になられていました。

それぞれの学校、展示会場であるそごうさんからも感謝の言葉をいただき、毎年とてもやりがいのある事業となっていますので今後も継続事業として続けていけたらと考えています。

大宮シティロータリークラブ
会長 山岸和美



インタラクティブ訪韓団報告

2025 年 3 月 25 ~ 30 日



1. 訪問の目的

- ・インタラクティブ訪韓学生が世界に友だちを広げながら、ボランティア精神と国際感覚を身につける。
- ・国際ロータリー第3750地区との38年続いているインタラクティブの交換留学事業が永年継続する様、更なる親睦を深める。

2. 活動内容

3月25日

ソウル仁川空港に到着。韓国側ホストファミリーと訪韓学生との簡易的な対面式を行い、各ホストファミリー宅へ向かう。夜は、参鶏湯の有名なお店にてロータリアン同士の晩餐会で交流を深める。初日より2次会も行われ、親睦も深まり、充実した6日間の訪韓事業になると想像される。

3月26日

訪韓学生は、伝統文化体験・ショッピングモール見学・華城行宮ツアーを行う。ロータリアンは、日本では大型銭湯の様なところで、サウナ・あかすり・足マッサージ等を行い、金団長主催のカンジャンケジャン食べ放題のお店で昼食。その後、恵慶宮カフェやUN軍初戦記念碑訪問を行う。晩餐会は骨付きカルビのお店で食事を行う。

3月27日

訪韓学生は韓国名所の遊園地(EVERLAND)ツアーに行く。ロータリアンは1泊旅行へ出発。大雪の中、加里王山ロープウェイ・Romyzian Garden散策。そして、インタラクティブ委員長のクラブメンバーが経営するペンションにてBBQにて晩餐。そしてキャンプファイヤーの様な形で皆で輪となり、お互いの国のロータリーソングを各々披露したり、国際ロータリーソングなどを全員で歌うなど、かなり親睦を深めることとなる。

3月28日

訪韓学生は、韓光女子中学校へ授業見学・韓国インタラクティブ学生達と交流。その後、水原工業高校へ授業見学を行う。ロータリアンは、旌善という地域にて、アリラン博物館・アウラジ訪問・レールバイクを楽しむ。昼食は、自然な環境で良質な川の水で育った松魚刺身を堪能する。夕食は、2日目の晩餐会と同じ店

にて、豚肉料理を堪能する。

3月29日

インタラクティブ協議会・インタラクティブ年次大会が開催され、訪韓学生・ロータリアン全員が参加。近年は対面式にてお互いの国の学生が出し物を披露してきたが、今年は簡易的な対面式だったため、インタラクティブ協議会にて出し物を披露した。最終日の晩餐会は、韓国インタラクティブ委員長のクラブメンバーのお店にて、ヤンニョムケジャンを堪能する。

3月30日

06:00 華城プルミルホテルにて解団式を行い、ソウルの仁川空港へ出発。帰国。

3. 成果

- ・渡邊団長の3750地区への影響力が高く、パストガバナーが何名も晩餐会・昼食会に参加するという例年にない待遇を受け、国際的な友情が更に深まり、今後の交流事業への基盤が強化された。
- ・韓国の文化やボランティア活動についての理解が深まり、充実した訪韓事業となった。
- ・次年度青少年奉仕部門委員長や次年度インタラクティブ委員長の活躍もあり、来年3月の訪日訪韓事業は、本年度以上に期待の出来る内容になることが予想される。

今後の展望

- ・訪問を通じて得た経験をもとに、次回の国際交流に向けた計画を立てる。
- ・定期的なミーティングを設定し、メンバー間のコミュニケーションを継続する。

2024-25 年度

青少年奉仕部門インタラクティブ委員長
北條 健二 (川口 / 鳩ヶ谷武南 RC)





第36回ローターアクト地区年次大会開催

2025年4月5日 大宮ソニックシティ

4/5(土)大宮ソニックシティ国際会議室にて当地区の第36回ローターアクト地区年次大会が開催されました。今年度の年次大会はメインプログラムが3部構成されており、盛りだくさんでした。

メインプログラム1では、地区から地区行事・地区補助金事業のご報告、各クラブからは今年度のクラブ活動発表をしました。



メインプログラム2では、今年度頑張って活動してくれたクラブ・個人に向けて表彰式。

【アクティブ会員トップ賞】、【例会数トップ賞】、【新規奉仕活動立ち上げ賞】、【ユニーク例会賞】、【地域に貢献する奉仕活動賞】、【会長推薦クラブMVP賞】の6部門の表彰がありました。改めて受賞したクラブ・会員の皆さんおめでとうございます。



メインプログラム3では、『目指せ!かるたマスター』を行いました。自地区行事・クラブ行事等の写真がかかるたの絵札となっており、5・7・5・7・7の順に句が読まれ、その句に合ったかるたを取るという当地区完全オリジナルのかるたでした!予想以上に他地区の方々、ロータリアンの方々もかるたが取れていてとても白熱した戦いでした。

当地区ローターアクトの年次大会にお越しいただきありがとうございました。年次大会を通して、当地区の魅力が少しでも伝わっていれば幸いです。

次年度も沢山のご参加をお待ちしております。





1 【訃報】小沢一彦名誉理事長 逝去

当財団名誉理事長の小沢一彦氏が、2月13日に逝去されました。享年87歳でした。ここに謹んで哀悼の意を表し、お知らせ申し上げます。



故・小沢名誉理事長は1978年に横須賀ロータリークラブに入会。2000-01年度国際ロータリー第2780地区ガ

バナー、2007-09年度国際ロータリー理事、2010-14年度ロータリー財団管理委員会委員など、ロータリーにおいて要職を歴任されました。

2014年9月から当財団の第六代理事長をお務めいただき、2018年9月からは名誉理事長として、当財団の活動に多大なるご尽力をいただきました。「米山奨学事業の宝は米山学友である」と語り、数多くの米山学友と交流されました。

小沢氏の長年のご貢献に感謝し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

2 4人目の紺綬褒章受章者が誕生

国際ロータリー第2770地区岩槻東ロータリークラブの杉田政男氏が、昨年12月21日付で紺綬褒章を受章されました。

紺綬褒章は公益のために私財を寄付し、その功績が顕著な個人や団体に対し、天皇陛下から授与される褒章です。当財団では2018年9月に公益団体認定を受けて以来、4人目の受章者となりました。

杉田氏は2003年2月に日本赤十字社へ多額の寄附をした功績により初めて紺綬褒章を受章されており、今回、異なる支援先として当財団

へご寄付いただきました。

杉田氏は今回の受章について、「ロータリーで学んだ社会奉仕の精神に基づき、日本で学ぶ外国人留学生を支援する事業に賛同し、一人でも多くの学生を受け入れることを望んでいます」と述べられています。



心より感謝とお祝いを申し上げます。

3 寄付金速報 — やや低調傾向に —

前年同期比

-9.7%

普 -2.1%

特 -13.3%

2月末までの寄付金は前年同期と比べて9.7%減（普通寄付金:2.1%減、特別寄付金:13.3%減）、約1億1,320万円の減少と

なりました。今月の寄付金は、前年度の初めに高額寄付をいただいたことによる影響を差し引いても、やや低調な結果となりました。来月以降は新規米山奨学生に関する行事も増加してまいりますので、引き続き皆さまのご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

当財団は「紺綬褒章」の公益団体認定を受けています

当財団は2018年、内閣府賞勲局より「紺綬褒章」の公益団体認定を受けました。

個人では500万円以上、団体、企業等は1,000万円以上をご寄付をいただいた方で定められた条件を満たす場合に、紺綬褒章の授与申請が可能です。紺綬褒章の申請に向けたご寄付を検討されている場合は、**あらかじめお申し出ください**（分納も可）。詳しくは当財団事務局まで。

4 マレーシア米山学友会 総会開催

2月15日、マレーシア米山学友会総会がハイブリッド形式で開催され、会場に28人、オンライン7人の計35人が参加。また、日本からは第2500地区&2510地区米山学友会会長の陶恵栄さん

(1997-98/札幌南RC)、第2580地区米山学友会会長の楊子明さん(2002-03/東京新橋RC)



が参加しました。

総会は黄建榮さん(1998-2000/室蘭東RC)の挨拶で始まり、各種報告が行われました。同学友会は、日本留学を希望するマレーシアの学生に対するサポートに力を

入れており、活動報告では留学フェアでの取り組みなどが紹介されました。

5 タイ米山学友会 総会開催

2月22日、タイ米山学友会総会がバンコク市内で開催され、米山学友のほか、日本からロータリー会員3人が駆け付け、参加者は計32人となりました。

総会は同学友会会長のペチニン ナレスさん(1994-96/越谷RC)の挨拶で始まり、各種報



告が行われました。活動報告では、2024年8月に発生した大雨・洪水によりタイ北部を中心に大きな被害が出たことについて、同学友会が取り組んだ被災

地域への支援活動などが紹介されました。

6 ベトナムの子どもたちに自転車を 第2620地区学友会

2月22日から25日にかけて、第2620地区米山学友会の4人がベトナム北中部のタインホア省バートウオク郡にあるラム・サ小学校チャン村分校を訪問し、1年生から5年生までの33人へ自転車の寄贈を行いました。

この奉仕活動は、昨年ベトナムに大型の台風が上陸し、同学友会に所属するレー チュオンロクさん(2020-22/甲府南RC)の地元であるタインホア省が大きな被害を受けたことが分かり、被災地の子どもたちが安心して学べる環境を整えるために企画されました。

自転車を受け取った生徒たちは喜び、日本語で「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えてくれたそうです。小学校の先生によると、学習環境



小学校の朝礼に参加し自転車を寄贈

が不十分であることに加え、毎年のようにやって来る台風の被害で苦しい状況にあるとのこと。通学に苦勞する子どもたちの負担が軽減され、勉強に励むことができるようになるとして、「このような支援を受けることができて本当にありがたい」との言葉をもらったそうです。

同学友会副会長で、現地を訪問したファム ゴック アンさん(2020-21/浜松南RC)は、「まだまだ困難な状況に置かれている人々がたくさんいることを改めて実感しました。サポートいただいたすべての方々の力を合わせたことで実現できた奉仕活動であり、大きな達成感を感じています」と述べました。



自転車を受け取り喜ぶ生徒たち

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp

URL : <https://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

編集担当 : 長尾(ながお)



毎日がポリオデー

第1 地域 ポリオ根絶コーディネーター 松田 英郎（富良野 RC）

2024 年 10 月 19 日今年度もポリオ根絶に関してロータリーが日経新聞に広告を出した。ご承知のようにポリオ根絶はロータリーの最優先事項で、我々の取り組みを少しでも知っていただきたい、支援を広げたいとの意思表示である。

今まで、野生型ポリオウイルスの根絶を約束し、着実に結果を出してきていたが、ここへ来てあと少しの所での足踏み状態となっている。しかし、ここで後戻りすることはできないのである。

ポリオウイルス感染は生ワクチン由来（伝播型）の感染が各国で発症しており、多くの先進国で近年ポリオ感染が無い場合、ワクチン接種を行わず、免疫力低下により成人でもポリオ感染者が存在している。完全に油断である。

昨年 9 月からの「ガザ地区での停戦、ワクチン接種施行」はご承知の方も多いと思われるが、戦争は武器のみならず、感染症で子どもの健康まで奪い取る残忍な状態の故、人道的観点から一時停戦しワクチンを接種した。接種率を 90%以上達成（予防に必要な接種率）したようである。

日本は太平洋戦争の敗戦後、最貧国となり、ボロボロの状態で多くの感染者が発症した。運良くカナダ、ソ連からのワクチンの緊急輸入で、急速にポリオ感染が急速に収束した。しかし、ワクチン接種を終了せず、今も不活化ワクチン接種が行われている。生ワクチンと違いワクチン由来のポリオ感染はほぼ無いと言っていいが、輸入ポリオによる感染のリスクはある。日本も対岸の火事ではすませないのだ。

なぜ今さらポリオと言う意見がある。グローバルな社会で全地球を考えると「根絶できうるいま進行形の病気」であることを知っていただきたい。

10 月には多くの地区で、ポリオに関して多くの催しが開催されたと思われる。たくさんの寄付を頂き、多くの方へのアピールはきっと成功したに違いない。だが、その時だけで終わってはならない。

これから、「毎日がポリオデー」と言いたい。





第2地域 ロータリーコーディネーター 野口 英一（甲府 RC）

国際協議会が終わり、ガバナーエレクトの皆様は三大セミナー開催の真っ最中、クラブ会長・幹事エレクトの皆様も PETS (PELS) や地区協など次年度の準備に忙しい時期かと存じます。

今年の国際協議会では、マリオ会長エレクトのイニシアチブとして、会員増強を最重要課題とし、革新、継続性、パートナーシップの重要性を語られました。単年度制のロータリーにおいて、ここ数年継続性を特に強調されています。行動計画と 3-Year rolling goals はその重要なツールの一つと言えます。クラブの現状をしっかりと認識し、次年度・次々年度も含めて 3 年間の目標を立てる、そして毎年見直して成長に繋げようというものです。各地区の行動計画推進委員の指導の下、入力を強く奨励しております。(My Rotary クラブセントラル に直接入力、詳細は [JAPAN ポータルサイト](#) または右 QR コードからご覧下さい。

地域の経済団体、各業界団体、教育機関等とのパートナーシップを深め、ロータリーのインパクトを高めていきましょう。

国際協議会では、「クラブは地域社会で存在感を持っていますか」という問いかけがありました。何をやっているか分からないクラブに入りたいと思うでしょうか？地域社会に根差した活動や国際奉仕をしっかりと実践し、地域の皆様から自分も参加したいと思われるようなクラブ作りこそが基本です。ホームページや各種メディアの利用、SNS での発信なども重要になります。次年度が素晴らしい年度になりますよう期待しております。

現ガバナー、クラブ会長幹事さんは年度終盤、年度末の会員減などがないように例会や活動を更に充実させて頂き、次年度への引き継ぎと 3Year への記入を必ずおやり頂きたく存じます。

前回好評でしたクラブの現状を確認できるグラフを一部修正して掲載しますのでご利用下さい。





第3地域 行動計画推進リーダー 硯川 昭一（熊本江南 RC）

既に8月号にて第1地域菅原さん、11月号にて第2地域桑澤さんより、「ロータリーの行動計画（指針）の推進」と「3-year rolling goals」につきまして、その意義、経緯、そして現状につきましての詳細なお話がありました。今や、3年間に改修されたクラブセントラルへ、各クラブの方針の目安が連携する役員によって議論され、3年分繰り返し入力して行くことが周知されつつあると感じています。改修されたクラブセントラルの26項目。その中には6つの最優先目標が含まれています。これらは4つの優先事項（行動指針）に沿って項目化されています。

「より大きなインパクトもたらす」ここにはロータリー財団補助金を使った積極的な奉仕活動と、奉仕後、その結果をしっかりと検証していくことが謳われています。ここでは6つの最優先目標の中の3つ。「財団寄付」に関することが主題となっています。

「参加者の基盤を広げる」これは会員増強を目指しています。多くの団体とのパートナーシップを築きながら、公共イメージアップにも力を入れ、新クラブも立ち上げて行こうというものです。ここでの最優先目標はずばり「会員増強数」となります。

「参加者の積極的なかわりを促す」これは会員維持を強調しています。ベテラン会員も若い会員ももれなく、親睦活動、奉仕活動に積極的に参加できているか、しっかり目配せ願いたいということです。さらに若い会員にとっての関心の一番はリーダーシップスキルの向上とありますので、RLIへの参加、マイロータリーからのラーニングセンター活用などは特に重要かと考えます。この最優先目標は、「奉仕活動に延べ何人が参加するか」ということです。

「適応力を高める」つまり革新的なクラブを作ろうということですが、これは、コロナ感染症によりまして、ロータリークラブでは劇的に進みました。今では当たり前のZOOM会議ですが、コロナ感染症前はとても想像できなかったことかと思えます。今年規定審議会が行われますが、クラブでも例会方法、会員資格など柔軟にクラブ細則を見直して頂きたいと思えます。ここでの最優先目標は「戦略計画があるか」です。

クラブセントラルの26項目のうち、少なくとも半分以上を設定し達成することにより、クラブ優秀賞がもらえることになっています。これらの6つの最優先目標も26項目に含まれており、達成することにより受賞に近づいて行きますので、積極的に取り組んで参りましょう。

さらに、新しい試みとしまして、次年度はグーグルフォームによる進捗状況報告を活用した、クラブサポートミーティングを定期的を開催することが、水野 RI 理事主導のもとガバナーエレクトと検討されています。以上申し述べましたが、クラブによって関心度は全く違うかもしれません。しかしながら、まずは一歩踏み出してみようではありませんか！



クラブ名	2024年 7月1日 現在		当月末 会員数		増減	目標 純増	通算 入会
		内 女性		内 女性			
浦和	105	6	103	7	-2	6	1
浦和東	93	14	98	15	5	3	7
浦和南	23	2	24	2	1	1	1
浦和中	31	4	32	4	1	3	1
浦和ダイヤモンド	21	4	21	3	0	1	1
第1グループ計	273	30	278	31	5	14	11
浦和北	58	3	58	4	0	4	4
さいたま中央	41	2	41	2	0	2	2
さいたまシティ	20	1	21	1	1	1	1
浦和北東	38	3	42	4	4	5	5
さいたま新都心	34	0	33	0	-1	2	2
第2グループ計	191	9	195	11	4	14	14
大宮	62	3	55	2	-7	5	2
大宮南	33	9	38	10	5	3	6
大宮中央	32	1	32	1	0	3	2
大宮シティ	42	3	44	3	2	3	3
さいたま樺	33	2	36	4	3	3	3
さいたま大空	15	6	13	5	-2	2	0
第3グループ計	217	24	218	25	1	19	16
大宮西	114	15	116	15	2	3	5
岩槻	19	0	25	2	6	5	6
大宮東	39	2	39	3	0	3	3
岩槻東	22	3	22	3	0	3	0
大宮北東	7	1	8	1	1	3	1
第4グループ計	201	21	210	24	9	17	15
上尾	34	0	33	0	-1	4	1
鴻巣	21	4	21	4	0	1	0
桶川	20	0	20	0	0	2	0
上尾西	34	3	35	4	1	2	1
北本	5	1	5	1	0	2	0
上尾北	21	0	20	0	-1	1	0
鴻巣水曜	25	0	25	0	0	2	1
桶川イブニング	29	3	28	3	-1	0	0
鴻巣イブニング	18	2	20	2	2	0	2
第5グループ計	207	13	207	14	0	14	5
春日部	28	2	29	2	1	3	2
杉戸	37	3	35	3	-2	3	0
春日部西	27	3	27	1	0	3	2
春日部南	22	0	28	0	6	0	7
春日部イブニング	38	2	41	2	3	4	3
第6グループ計	152	10	160	8	8	13	14

クラブ名	2024年 7月1日 現在		当月末 会員数		増減	目標 純増	通算 入会
		内 女性		内 女性			
幸手	27	1	27	1	0	4	1
蓮田	45	3	46	3	1	3	1
久喜	47	7	49	7	2	5	3
幸手中央	17	2	16	1	-1	2	0
第7グループ計	136	13	138	12	2	14	5
越谷	90	3	92	6	2	2	9
越谷南	37	3	42	4	5	5	5
越谷北	43	2	48	2	5	3	5
越谷東	70	5	75	5	5	5	10
越谷中	11	1	13	1	2	3	3
第8グループ計	251	14	270	18	19	18	32
八潮	50	4	39	4	-11	2	0
八潮イブニング	10	0	10	0	0	0	0
八潮みらい	18	1	18	1	0	2	0
草加松原	33	3	35	2	2	6	3
草加シティ	17	6	17	6	0	5	0
第9グループ計	128	14	119	13	-9	15	3
吉川	10	0	8	0	-2	3	0
三郷	32	4	31	4	-1	1	0
三郷中央	16	1	17	2	1	3	1
松伏	17	2	19	2	2	3	2
吉川中央	14	3	14	3	0	2	1
第10グループ計	89	10	89	11	0	12	4
川口	91	16	95	18	4	6	8
鳩ヶ谷	13	0	13	0	0	1	1
川口東	24	3	24	2	0	2	1
川口/鳩ヶ谷武南	22	2	23	3	1	2	2
川口モーニング	24	1	27	2	3	5	4
川口南	15	3	17	5	2	3	2
川口シティ鳩ヶ谷	7	2	7	2	0	1	0
第11グループ計	196	27	206	32	10	20	18
戸田	51	7	50	7	-1	6	0
蕨	16	3	18	3	2	3	2
川口西	13	1	12	1	-1	1	0
戸田西	20	1	19	1	-1	1	0
川口北	30	1	28	1	-2	0	0
川口中中央	11	1	11	1	0	1	0
川口むさし野	18	5	17	4	-1	2	0
第12グループ計	159	19	155	18	-4	14	2
地区合計	2200	204	2245	217	45	184	139
参考：2024年2月地区合計	2241	197	2302	212	61	224	156

ローターアクトクラブ

クラブ名	7/1会員数	当月末	増減	クラブ名	7/1会員数	当月末	増減
大宮	3	3	0	川口	15	11	-4
浦和北	11	13	2	大宮南	11	9	-2
獨協大学	5	6	1	蓮田	4	5	1
大宮東	8	7	-1	川口/鳩ヶ谷武南	4	10	6
文教大学	9	7	-2	ローターアクト計	81	116	35
共栄大学	11	45	34	地区合計	2281	2361	80

ロータークラブ数 68RC
ローターアクトクラブ数 10RAC
2025年1月末会員数 2245人
RC+RAC会員数 2361人